

迅速な証明文書の発行に向けた取り組みについて

患者さんが入院、通院をするなかでは、職場へ提出するための診断書、入院・通院給付を受けるために保険会社へ提出する診断書、医療費負担を軽減するための公費申請に関する診断書など様々な種類の診断書等が必要となる場合が考えられます。

当院では迅速な証明文書の発行に向け、定期的に文書の未発行状況を整理し、診療科と連絡調整を行ったり、ドクターズクларクを活用し、医師の負担軽減に取り組んでいます。今後も更に患者さんの声に真摯に向き合い、病院全体で状況の改善に努めサービスの向上を図ってまいります。お気付きの点等がございましたら、お知らせください。

証明文書は当院1階の8番窓口(もしくは時間外受付)または郵送にて受付けています。詳細につきましては、当院の地域医療連携センターのホームページ(<http://www.med.shimane-u.ac.jp/RMCC/>)もご参照ください。

問合せ先 **医療サービス課 地域医療連携センター** TEL(0853)20-2061

郵送 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1 **窓口** 【平日 8:30~17:15】 文書受付(8番窓口) 【平日 17:15~翌日8:30】(休日)時間外受付(救命救急センター)

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

11月15日~12月14日 対象者: **一般** 一般市民 **医療** 医療関係者 **本学** 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
11/15(火)	9:30~11:30	平成28年度 島根県がんピアサポーター相談会	外来・中央診療棟3階 カフアレンスルームだんだん	一般	がん患者・家族がトホカ
	13:00~15:00	市民公開講座「からだをあらわす出雲弁」	講義棟1階国際交流フナジ	一般 医療 本学	環境保健医学講座 (公衆衛生学)
11/19(土)	9:30~14:30	認知症の予防・治療・介護の最前線シンポジウム2016	臨床講義棟2階大講義室	一般 医療 本学	環境生理学
	12:00~	第12回中四国放射線医療技術フォーラム 「認知症の画像診断」	★島根県民会館1階中ホール	医療 本学	放射線医学講座
11/20(日)	13:00~16:00	神在りの園がんメディカルカフェ *予約制	みらい棟4階キヤクシー	一般	がんブ ロイックが養成 基盤推進ア ン事務室
	14:00~16:00	島根大学医学部市民公開講座 「むねやけ、便秘:あなどることなかれ!」 「便秘はこうしておく!!最新治療を試みる前にすること。」	★パルメイト出雲4階	一般	第二内科
11/22(火)	18:30~20:00	平成28年度 島根大学がん医療従事者研修会 がんとともに生きる人、支える人への支援-NCCでの取り組み	臨床講義棟1階小講義室	医療	腫瘍センター
11/23(水)	13:00~16:00	緩和ケア市民公開講座「つながる、緩和ケア」	臨床講義棟1階小講義室	一般	緩和ケア講座・ 緩和ケアセンター
11/25(金)	18:45~20:00	Autumn Seminar Izumo 「感染症の画像診断-非感染症との鑑別を中心に-	臨床講義棟1階小講義室	医療 本学	放射線医学講座
11/26(土)	10:40~16:20	第20回島根県がん登録研修会	★浜田医療センター2階 総合研修センター	医療	医療サービス課
11/27(日)	9:00~17:00	平成28年度 出雲NST研修会	外来・中央診療棟3階 カフアレンスルームだんだん	医療 本学	栄養サポートセンター
12/3(土)	13:30~15:30	市民公開講座 「身近な生活環境と健康-環境と病気の予防-	講義棟1階国際交流フナジ	一般 医療 本学	環境保健医学講座
12/6(火)	18:00~19:00	第3回臨床検査セミナー 「ガイドラインに基づいた安全な採血のポイント」	看護学科棟N11講義室	医療 本学	検査部
12/11(日)	14:00~16:00	島根大学医学部市民公開講座 「むねやけ、便秘:あなどることなかれ!」 「のどのつまり」「むねやけ」を感じたらまず試してみよう!! 食べたものはどのように胃に運ばれる?好酸球性食道炎?	★パルメイト出雲4階	一般	第二内科
	13:00~16:00	口腔がん集団検診	★出雲市役所 くにびき大ホール	一般	歯科口腔外科学講座

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS

CONTENTS

- 骨転移の新しい治療薬が使用できるようになりました
- 迅速な証明文書の発行に向けた取り組みについて
- 国立大学病院管理会計システム「HOMAS2」を用いた原価計算結果によるベンチマーク分析を開始
- 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

骨転移の新しい治療薬が使用できるようになりました

放射線治療科 教授 猪俣 泰典
いのまた たいすけ

骨転移は肺がん、乳がん、前立腺がんなどで特に多く見られます。骨に転移すると強い痛みが高率に生じます。骨転移の治療薬はがん細胞によって起こる破骨細胞の異常な骨吸収を抑える骨代謝修飾薬剤が中心で、疼痛の軽減や骨破壊を防止する目的で使用されていますが、がん細胞に障害を与えることはほとんどありません。

このたび、これらの薬剤に加えて抗腫瘍効果を狙った新しい骨転移治療薬である塩化ラジウム-223（ゾーフィゴ®）が日本でも用いられるようになりました。ラジウムは体内でカルシウムと似た代謝を行うので、骨転移病巣に集積します。本薬剤は壊変してα線を放出するのが最大の特長です。α線の飛程距離は50-80μmと短いので骨髄や周囲の正常組織への影響が少なく、しかも生物学的作用が大きいので効率よくがん細胞を破壊することが出来ます。

ゾーフィゴ®は前立腺がんの骨転移（図1）のうち去勢抵抗性のもに対して適応が認められています。本薬剤はがん細胞を直接破壊して生存期間を延長することが示されており（図2）、さらに他の薬剤と同様に疼痛の緩和・防止に対しても効果が期待できますので、この点が従来の薬剤と大きく異なります。用法は静注にて4週間隔で最大6回まで投与できます。当院でもゾーフィゴ®を使用するにあたって施設基準を満たすための準備を進め、本年11月から使用することが出来るようになりました。ゾーフィゴ®などの放射性物質を用いた治療は放射線治療科で行っています。

以上ご紹介したように、骨転移の治療薬もさまざまな病態に応じて使い分けられる時代になりました。

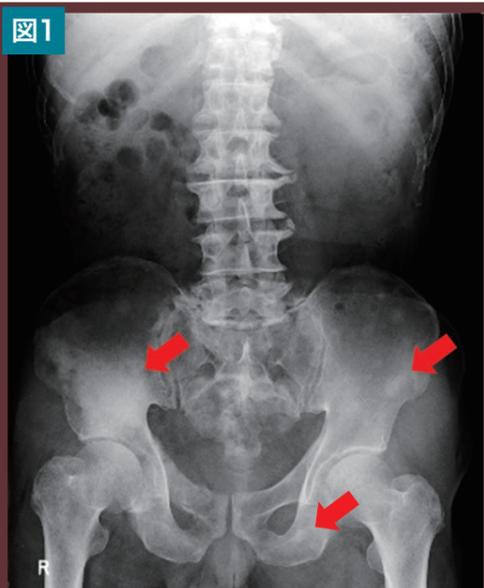
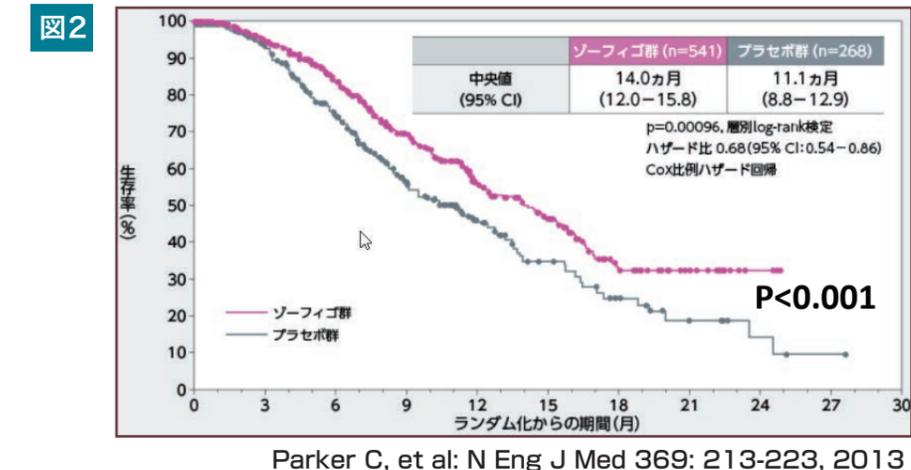


図1 前立腺がんの”造骨性”転移で腸骨や坐骨などの濃度が上昇しています。



去勢抵抗性前立腺がんの骨転移に対して塩化ラジウム-223を投与することにより、有意な生存率の改善がみられています。

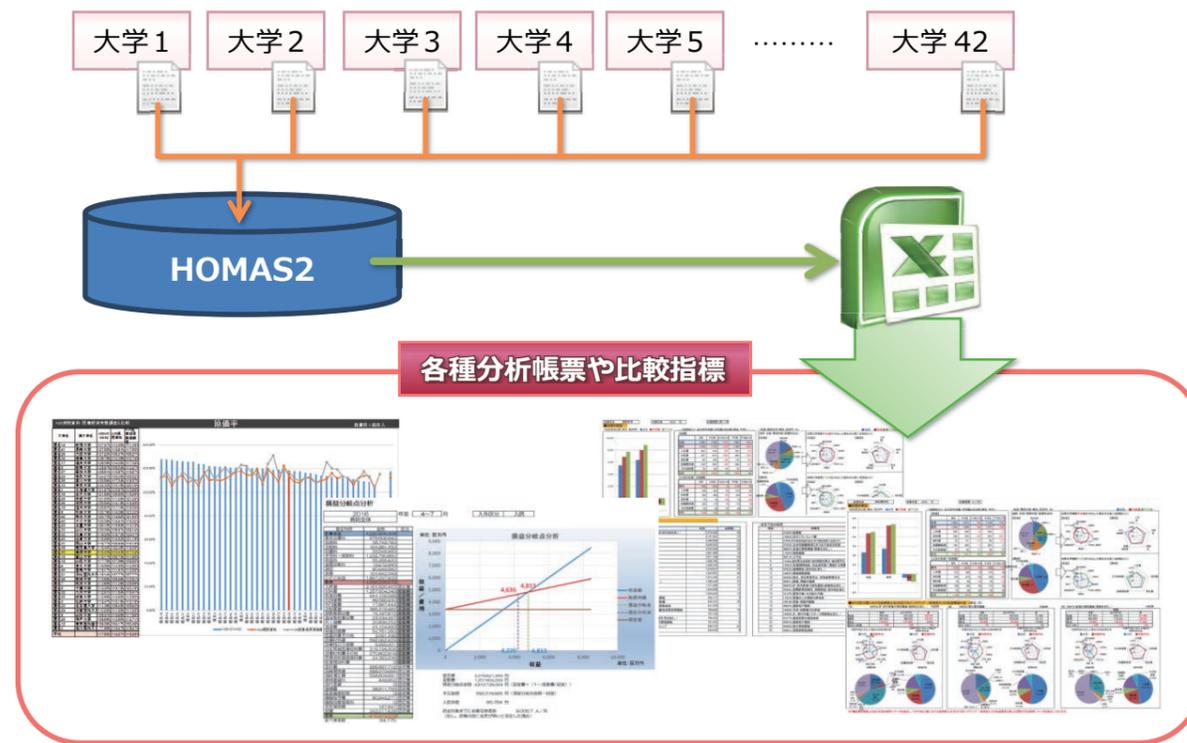
問合せ先 放射線治療科 TEL:0853-20-2582

国立大学病院管理会計システム「HOMAS2」を用いた原価計算結果によるベンチマーク分析を開始

医学部会計課経営支援担当

日本の医療においては、少子高齢化、医療安全ガバナンス強化、医療費財源のひっ迫が背景となり、質が高く効率的な医療提供体制の構築が求められ、昨今の診療報酬改定においても、医療環境を大きく変化させるよう政策的な改定が行われています。そのような中、地域ニーズや環境変化などに対応するためには、病院経営の安定化を図る必要があると考え、第3期（本年4月から6カ年）の島根大学中期目標に、「先進的医療、高度医療及び臨床研究の推進、働きやすい職場環境と強固な経営基盤を確立し、島根県の中核病院として県民に更に信頼される病院運営を行う。」を掲げ、強固な経営基盤の確立を目指しています。

昨年度まで、DPCデータを用いた包括と出来高比較による収入構造の効率化や、他院とのベンチマーク比較による診療内容の適正化など、診療報酬制度に則した効率的な医療提供を心掛けてきましたが、本年度から、更に効率的な医療提供を目指すため、本学職員が開発プロジェクトチームおよびスペシャルチームに参加し開発された国立大学病院管理会計システム「HOMAS2」(HOMAS=HOspital Management Accounting System) による原価計算結果から疾病別収支分析や、国立大学病院（42病院）間でのベンチマークによる収支構造比較などを開始しています。現在は、プロトタイプ的に作成した各種分析帳票や比較指標を、毎月開催している病院経営企画戦略会議および病院運営委員会に資料を提供し、執行部や診療現場において「HOMAS2」は効率的な医療提供を行うための分析ツールとなっています。





ご報告



第13回 島根大学医学部附属病院関連病院長会議を開催しました

10月6日(木)18時からニューウェルシティ出雲において「第13回島根大学医学部附属病院関連病院長会議」を開催しました。

この会議は、当院への患者紹介や当院からの医師の派遣等を通して関係の深い病院・診療所との意思疎通を図ること、また、地域医療に貢献することを目的として設置され、毎年1回開催しており、今年で13回目を数えます。本会議には、島根県内42関連病院の病院長等と、井川病院長を始めとする当院関係者43名が出席しました。

冒頭で井川病院長から挨拶があった後、「教育・研修について」及び「診療体制について」と題して、卒後臨床研修センターやしまね地域医療支援センターの取り組み、高度外傷センター、周産期母子医療センター、IBDセンター、再生医療センターの活動報告、その他当院の現状及び取り組み状況等について、報告が行われました。

また、議事に引き続き懇親会が催され、当院と関連病院との更なる連携が発展する機運が高まりました。



ご報告

松江市民フォーラム 「島根大学病院の今と最新治療」を初開催！

10月2日(日)、松江テルサにて島根大学病院が主催する松江市民フォーラム「島根大学病院の今と最新治療」を初めて開催しました。

当院は、県内唯一の医育機関として、多くの医師を養成するとともに、特定機能病院として、高度で先進的な治療の開発と提供を行ってきました。

全県のお患者さんを対象とした診療の実施を使命としていますが、特に松江市民の方々に当院の今と最新治療を知っていただき、健康の維持に役立てていただきたいと思いますとの思いで計画したものです。

当日は多くの方にご来場いただき、当院の取り組みについて熱心に聴講いただきました。

また、講演後の質疑応答では、治療に関する質問だけでなく、当院への期待やご要望など、多くの貴重なご意見を頂き好評でした。

なお、次回のフォーラムは、来年3月25日(土)に松江テルサにて開催する予定です。

- 講演内容**
- ① ご存知ですか?～ロボットで手術治療ができることを～
泌尿器科 教授 椎名 浩昭
 - ② 命を守ります!～外傷救命のスペシャリスト:高度外傷センター～
高度外傷センター センター長 渡部 広明
 - ③ お困りではありませんか?～膝関節治療の最前線～
整形外科 教授 内尾 祐司



井川病院長による挨拶

講演後の質疑応答





ご報告



ご報告



平成28年度 島根大学医学部支援協議会総会が開催されました

本協議会は、国立大学法人化した島根大学医学部が、地域に根ざした大学として今後一層発展するよう支援する目的で平成14年4月に設立され、出雲市、出雲市議会、出雲商工会議所、JA出雲地区本部・斐川地区本部、出雲商工会、平田商工会議所、斐川町商工会等の支援団体で構成されています。

平成28年9月30日(金)、今年で15回目となる総会が出雲市ラピタウェディングパレスで開催され、本学からは、山口医学部長、井川病院長、後藤事務部長らが出席し、平成27年度事業報告と平成28年度予算案の承認がなされました。主な展開事業である①出雲市民に還元できる教育研究プロジェクトへの支援、②がんプロフェッショナル養成プランへの事業支援、③教育研究基盤整備への支援、④学生による地域貢献ボランティアへの参加支援について報告されました。その後、山口医学部長から「島根大学医学部の地域医療への貢献とグローバル教育」と題して、また、井川病院長から「島根大学病院の今、特に外傷救急医療について」と題して、それぞれ基調講演がありました。

総会後の懇親会では、出席者の皆様から医学部および附属病院に対して多くの励ましのお言葉を頂きました。

島根大学医学部支援協議会 総会



宮本 享 会長の挨拶



病院ボランティアコンサートを開催しました!!

当院では、患者さんやご家族のみなさんに心とむひとときを過ごしていただけるよう、定期的に「病院ボランティアコンサート」を実施しています。

9月30日(金)19時より、病院1階待合ホールにて、出雲ロータリークラブ主催の出雲楽友協会音楽家会員による「フルート、ファゴットとピアノによるコンサート」が開催されました。

3回目となる今回も、趣向を凝らしたプログラムで会場を盛り上げて下さいました。患者さんやご家族の皆さんは、普段間近で聴くことの少ない本格的な演奏による「エトピリカ」や「カノン」などの曲にじっくりと聴き入っておられました。また、「秋のメドレー」とアンコール曲の「ふるさと」の演奏では、一緒に詞を口ずさみながら、初秋の楽しい時間を過ごされました。



今後の予定

時間: 19時～
場所: 病院1階 待合ホール

- 11月18日(金) 創作朗読楽団「Repos(ルポス)」
- 12月16日(金) 島根大学 混声合唱団
- 1月20日(金) 出雲ルビーズ





ご報告



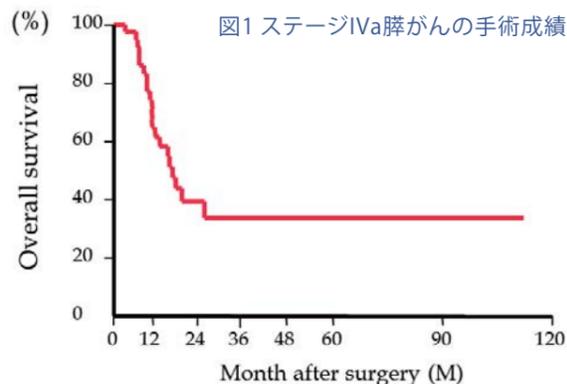
膵臓疾患特殊外来を開始しました!!

かわばた やすなり
肝・胆・膵外科 講師 川畑 康成

当院では、2016年10月から「膵臓疾患特殊外来」を開院し、各種膵疾患の横断的な診療を開始しました。山陰地区には膵臓疾患に特化した専門外来はなく、この「膵臓疾患特殊外来」は、山陰地区では初めての試みとなります。膵がん、膵嚢胞性腫瘍、神経内分泌腫瘍、慢性膵炎で代表される膵臓疾患は、食生活の欧米化や高齢化社会等を背景に、増加傾向にあります。特に島根県は、本邦において膵がんの発症率が高い地域として認識されています。また、膵疾患の病態は多様で、その治療法も画一的ではありません。本特殊外来の診療は、消化器・総合外科(肝・胆・膵外科)が窓口となり、消化器内科、腫瘍・血液内科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、内分泌代謝内科、栄養治療室等が密に連携しながら行います。膵臓疾患でお困りの患者さん・医療者にチーム一丸となって対応させていただきます。

膵がん

発症率は30人/10万人で、依然、増加傾向にあります。原因不明の心窩部痛や突然の糖尿病発症には膵がんが関与している場合があります。漫然とした治療は切除不能膵がんの一因となります。消化器・総合外科では、局所進行膵がんに対する門脈・動脈合併切除を積極的に行っており、stage IVaの進行がんであっても33.9%の5年生存率を得ています(図1)。また、転移を有する切除不能膵がんであっても、抗がん剤治療や放射線治療を組み合わせることで根治切除が可能となる症例が経験されます(奏効率60%, 切除率40%, 生存期間中央値19ヶ月)。



膵嚢胞性腫瘍 (IPMN・MCNなど)

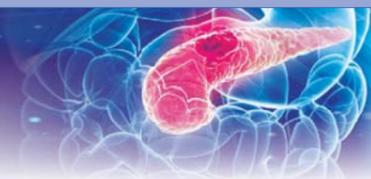
検診や他疾患の精査中に発見されることが多い疾患です。国際診療ガイドラインに治療指針が示されていますが、診断と治療は容易ではなく、特に外科治療の適応の見極めが重要になります。また、膵がんや他臓器のがんを合併する頻度が高いことが知られています。現在、適切な検査手技や検査間隔に関する明確なエビデンスはありません。症例を集積することで、島根から新たなエビデンスを発信したいと考えています。悪性度に応じた外科切除が要求されますが、早期症例には腹腔鏡手術も実施しています(図2)。当施設は、腹腔鏡下の膵頭十二指腸切除術および膵体尾部切除術の認可施設となっています。



図2 腹腔鏡脾動静脈温存膵体尾部切除術



ご報告



膵臓疾患特殊外来を開始しました!!

膵神経内分泌腫瘍 (Neuroendocrine tumor: 膵NET)

発症率は6人/10万人で、増加傾向にあります。膵臓のラ氏島からはインスリンやグルカゴンなどのホルモンが分泌されます。このラ氏島から発生するのが膵NETで、その約30%はホルモン産生腫瘍(インスリノーマ・ガストリノーマ・グルカゴノーマなど)です。確定診断にはホルモン負荷試験等の特殊な検査が必要で、多くが外科切除の対象となります。早期症例には、腹腔鏡下の腫瘍核出術や脾動静脈および脾を温存した膵体尾部切除術等を実施しています。

慢性膵炎

多くはアルコールが原因で、腹痛・下痢などの消化器症状や糖尿病などが出現します。40~50代に多く、膵臓内に膵石が存在することで診断可能です。慢性膵炎に対する外科治療(膵管減圧術や膵切除術)は山陰で最多を誇ります。

その他

検診後の精密検査依頼やセカンドオピニオンも気軽にご相談ください。

窓口は消化器・総合外科ですが、その病態にあわせて、消化器内科、腫瘍・血液内科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、内分泌代謝内科、栄養治療室などと連携して総合的に対応いたします。

診察日 毎週火曜日午後(要予約) 医師 川畑 康成(肝・胆・膵外科 講師)
田島 義証(消化器総合外科 教授)

問合せ先 外科(外来) TEL 0853-20-2384





島大病院ニュース 2016年11月

お知らせ



病院内「市民ギャラリー」のご案内

当院では、B病棟1階渡り廊下に「市民ギャラリー」を設置して、概ね3ヶ月毎に展示作品を替え、皆様にご覧いただけます。

10月～12月は、株式会社谷口印刷のクリニカルアート作品8点を展示しています。展示作品のうち、「りんごをかこう」は当院うさぎ保育所の園児が作成しました。

作品タイトル

- りんごをかこう
- にんじんを描こう
- なすを描こう
- 青首大根のちぎり絵
- さつまいもの量感画
- さざえを描く
- デコボコいろいろ版画
- アジの干物を描く



クリニカルアートとは?

絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることによって脳を活性化させて、認知症の症状を改善するために開発された臨床美術のことです。

作品を作る際には、独自のアートプログラムに沿って、単に「見る」だけではなく、触ったり、匂いを嗅いだり、味わったり、音楽を聴いたりして五感を刺激します。この五感への刺激と臨床美術士とのリラックスしたコミュニケーションによって脳が活性化されて、感性の目覚めや心の解放などの効果も期待されています。

当院市民ギャラリーにお立ち寄りいただき、ぜひ実際の作品をご覧ください。

今後も、市民の皆様から広く絵画や写真等の作品を募集いたします。

詳細につきましては、当院のホームページ (<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/pickup/gallery.html>) に記載しておりますので、ご覧ください。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL: 0853-20-2019



平成28年11月発行
 編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
 問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
 TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
 ◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2016年11月

ご報告



清掃ボランティア(出雲慶人会連合会青年部)さん にお世話になりました。

当院では、定期的に清掃ボランティアさんにお世話になり、草刈・清掃等の環境整備を行っていただいています。

出雲慶人会連合会さんには、春は連合会(病院ニュース第33号)に報告を掲載しています。秋は連合会青年部として環境整備を行っていただいております。

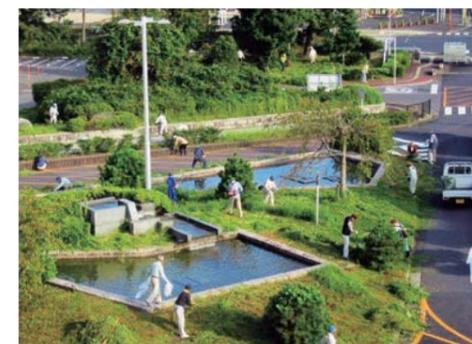
今回は、秋の出雲慶人会連合会青年部(会長:古山秀夫氏)さんの活動をご報告します。

9月24日(土)好天の下、7時30分から9時までの間、総勢90名と多くの方々にお集まりいただき、正門から病院玄関、臨床研究棟北側周辺の草刈、清掃を行なっていただき、1時間30分後にはとてもきれいになりました。

出雲慶人会連合会青年部さんの環境整備は、春の連合会さんと同じく、今年で6年連続、6回目となります。

地域のボランティア活動に支えられ、患者さんも快適な環境の中で気持ちよく治療を受けていただけることと思います。そして、当院も医療を通して地域貢献できるよう努力したいと思います。

出雲慶人会連合会青年部の皆さん、その他ボランティアの皆さん、いつも有難うございます。



平成28年11月発行
 編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
 問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
 TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
 ◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





お知らせ

島大病院ニュース 2016年11月

トゥワイライトセミナーの今後の予定について

ひろせ まさひろ
病院医学教育センター 医学部地域医療政策学講座 教授 廣瀬 昌博

当院では、文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業に選定された「地方と都会の大学連携ライフインベーション」において、地域包括ケアの構築と同システムを通じた医師および医療スタッフの養成に向け、尽力してきました。とくに、地域包括ケアには医師ばかりでなく、医療スタッフ、ならびに行政、事務職等すべての職種の関与が不可欠であることから、これら幅広い対象者に「トゥワイライトセミナー」を開催してきました。

本セミナーは、原則として火曜日 18時から、学内外の講師により、地域包括ケアや総合診療などに関するあらゆるテーマについて、県下 27 施設に TV 会議システムで配信できる体制となっています。今年度も折返し点を過ぎましたが、地域包括ケアにはあらゆる職種間、施設間の連携が必要で、それにはすべての職種を理解し、他施設での活動を知り、知識とスキルを向上せねばなりません。

本事業も 4 年目、残すところ 1 年半余りです。みなさまに今年度の予定をお知らせしますので、奮ってご参加ください。

トゥワイライトセミナー開催日

開催日・時間	会場	講義内容	担当
H28.11.8 (火) 18:00~19:30	みらい棟4階 ギャラクシー	"地域包括ケアにおける食事栄養支援 一邑智郡での取り組み"	社会医療法人仁寿会 加藤病院 院長 加藤 節司
H28.11.29 (火) 18:00~19:30		在宅医療とIT	医療法人医純会 すぎうら医院 副院長 杉浦 弘明
H28.12.6 (火) 18:00~19:30		"地方包括ケアにおける 津和野共存病院の取り組み"	医療法人 橋井堂 津和野共存病院 院長 須山 信夫
H28.12.13 (火) 18:00~19:30		医療・介護・福祉と法的制度～医療事故調査制度～	島根大学大学院法務研究科 教授 熱田 雅夫 (弁護士)
H29.1.10 (火) 18:00~19:30		島根県における医療行政の実状	島根県健康福祉部医療政策課 医療専門員 杉谷 亮
H29.1.24 (火) 18:00~19:30		総合診療と臨床研究	島根県立中央病院 感染症科 部長 中村 嗣
H29.1.31 (火) 18:00~19:30		在宅医療における医療経営	医療法人つむらファミリークリニック 院長 津村 弘人
H29.2.7 (火) 18:00~19:30		医療組織のマネジメントと多職種連携	日本医療経営機構 主任研究員 田中 将之

その他開催セミナー

開催日・時間	会場	講義内容	担当 (問合せ先)
H28.11.6 (日) 18:30~20:00	津和野町民センター	認知症運動療法inつわの (講演・実技指導)	津和野共存病院 総務係 (0856)72-0660
H28.12.18 (日) 13:00~16:00	臨床講義棟 小講堂	島根の在宅医療を考える実践シリーズ	島根大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター (0853)20-2006
H28.12.23 (金・祝日) 13:00~15:30	みらい棟4階ギャラクシー	地域包括ケアシンポジウム0 地域医療構想のもとでの地域包括ケア ー総合診療医の役割、大学病院の役割ー	島根大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター (0853)20-2006

問合せ先 卒後臨床研修センター TEL: 0853-20-2006



みらい棟案内図



みらい棟玄関

みらい棟玄関(立体駐車場側)からお入り下さい。
西門から入られると右手に駐車場があります。
※病院内からは入れません

TV会議システム整備先

- 出雲圏域**
出雲市民病院
島根県立中央病院
島根大学医学部附属病院
島根県立こころの医療センター
出雲市立総合医療センター
島根県立大学出雲キャンパス
- 松江圏域**
松江市立病院
松江生協病院
松江赤十字病院
安来市立病院
安来第一病院
島根県看護協会
- 隠岐圏域**
隠岐病院
隠岐島前病院
- 大田圏域**
大田市立病院
加藤病院
邑智病院
- 雲南圏域**
雲南市立病院
平成記念病院
奥出雲病院
飯南病院
- 益田圏域**
益田赤十字病院
益田地域医療センター医師会病院
津和野共存病院
六日市病院
- 浜田圏域**
浜田医療センター
江津総合病院

※現在、邑智病院、津和野共存病院で受講可能です。その他の施設では、現在、受講可能となるよう準備中です

問合せ先 卒後臨床研修センター・地域包括ケアステーション TEL:0853-20-2006
E-mail sotsugo@med.shimane-u.ac.jp (卒後臨床研修センター)



平成28年11月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





ご報告



「緩和ケア病棟ご説明公演・出雲弁バージョン」の様子



「ハンドベル演奏」の様子

ホスピス緩和ケア週間イベント 「ひろめよう、緩和ケア」を開催しました

なかに としひこ
緩和ケアセンター センター長 中谷 俊彦

当院は日本ホスピス緩和ケア協会の正会員であり、専門的緩和ケアを提供する施設に位置づけられています。2016年10月2日(日)～10月8日(土)の世界ホスピス緩和ケア週間に全国各地でイベントが行われていました。

当院では10月3日(月)に来院された患者さん・ご家族や医療スタッフに対して、緩和ケアの啓発・普及活動を実施しました。緩和ケア週間啓発用のパンフレット500部、院内各スタッフが育てた風船葛(ふうせんかずら)の種(白いハートが素敵な黒い小粒)を配布しました。

緩和ケアを広く知っていただくために、当院のスタッフで結成した「なご☆みん一座」による「緩和ケア病棟ご説明公演・出雲弁バージョン」を行いました。また、多職種のスタッフが一生懸命練習をしたハンドベル演奏を披露し、癒やしのハンドマッサージ、医療ソーシャルワーカーの緩和ケア相談、リハビリテーション部からストレッチの実践、栄養部は試飲・試食ができる栄養相談を行い、患者さん・ご家族のみなさまにW参加をしていただきました。特別ゲストとして「しまねっこ」が、病院職員などにわかバックダンサーを引き連れた華麗なダンスを披露して、一緒に緩和ケアの啓発、普及活動を行い、場を明るく和ませてくれました。

問合せ先 緩和ケア講座 電話 (0853) 20-2237

